

III. 先行的な取組事例の紹介

【取組】 小地域のサロンからつながりをつくる

【実施主体】 香芝市・白鳳ふれあいの会

◆活動の概要

- ・設立以来15年の取り組みからの気づきをふまえ、子どもが巣立ち高齢世帯が多くなった地域の課題について話し合い、子どもが巣立ち、高齢者世帯が多くなるなか「10年先も楽しめる居場所を、元気なうちにつくっておきたい」という思いから、地域住民から50人を超えるボランティアを募り、サロンを開催されています。
- ・高齢者を把握している自治会の協力のもと、参加への声かけ、男性ボランティアの活用など、サロンに来たことがない人も、気軽に参加できる工夫をされています。
- ・サロンの日には、隣接する地域にある農家の協力で「採りたて野菜販売」があり、近隣スーパーが閉店するなか買い物できる場所としても活用されています。
- ・サロンだけではなく、ラジオ体操や歩こう会など、集いの場を多様に設けることで、参加層を広げる工夫をされています。



香芝市・白鳳台

県北西部に位置する香芝市にある、1,000人、600世帯ほどが暮らす地域。10年後、多くを占める団塊の世代が一斉に高齢化する。

資料提供：奈良県社会福祉協議会

【取組】 専門職と連携した高齢化団地の見守り活動

【実施主体】 奈良市・つるまい団地見守りネットワーク会

◆活動の概要

- ・高齢単身者が増え、何かあってもすぐに気づくことができるようとの思いから、自治会役員、担当民生児童委員、老人会、地域包括支援センター、市社協などを交えて検討を重ね、住民ボランティアによる見守り活動をされています。
- ・見守り活動は、「あんしん登録カード」の登録者に、月2回の訪問、電話、声かけ等を行っています。また緊急連絡先などを記した「あんしんシート」（年1回更新）を作成し、緊急用に登録者の自宅に常備しています。
- ・併せて「おしゃべりカフェ」を月2回開催され、閉じこもりを防ぎ、顔見知りをふやすことで孤立を防止しています。
- ・月1回の定例会では、ボランティアが見守りを通じ気づいたことを相互に報告し、情報交換しています。登録していない人であっても気になる人については、さりげなく見守っています。



奈良市・つるまい団地

奈良市の平野部、駅から徒歩圏内のUR団地。幹線道路を挟んで、東部（建替前）1500戸、西部432戸からなる。

活動立ち上げ時の、高齢化率は59.8%、うち6割が独居。

資料提供：奈良県社会福祉協議会

【取組】 障害者と高齢者の交流による居場所づくり

【実施主体】 十津川村・十津川なかよし会

◆活動の概要

- ・障害のある子を持つ母親から、子どもの就労の場を望む声があり、村社協のサポートで、地域の元気な高齢者がボランティアとして関わって、高齢者と障害者による「十津川なかよし会」を設立されました。
- ・地域で休耕地となった茶畠や梅林を無償で借り受け、障害者のメンバーと高齢者のボランティアが、茶畠や梅畠を手入れして収穫や加工を協働で行い、道の駅や村外のイベントで番茶や梅干しなどを販売しています。
- ・また、拠点となる古民家を活用し、平成27年10月からは栄養が偏りがちな高齢者向けに配食活動も始められました。
- ・高齢者と障害者が共に働き、メンバー同士のコミュニケーションを大切にしながら、お互いの居場所づくりに取り組まれています。



十津川村・風屋地区周辺

日本一大きな県南西部の十津川村（高齢化率42.4%H26年10月1日現在）の国道168号線沿いの北部の地域。

資料提供：奈良県社会福祉協議会

【取組】 地域おこしの人材を活用した生活支援

【実施主体】 下北山村・NPO法人サポートきなり

◆活動の概要

- 高齢化が進む下北山村に、地域おこし協力隊（総務省）やふるさと復興協力隊（奈良県）として村外から転入してきた若者が、行政や集落支援員（総務省）等の協力のもと地元との調整を図り、NPO法人を設立し、生活支援を行っています。

※地域おこし協力隊

地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行う

※ふるさと復興協力隊

紀伊半島大水害からの復興活動等、地域協力活動を行う

※集落支援員

地域の実情に詳しく、集落対策の推進に関してノウハウ・知見を有した人材が、市町村職員と連携し、集落の巡回、状況把握等を実施

- 草刈りや畠の耕耘などの地域での困りごとに、住民による応援隊が有償で応える有償ボランティアの仕組みつくり、支援をされています。

- 買い物、通院などの移動に関するニーズに対応するため、バスも電車もない地域での有償運送を、行政と連携しながら行っています。

- 特産物の生産販売などに関わり、地域で採れた野菜を地域で買える場として土曜朝市も開催し、買い物の支援をされています。



下北山村

県南東に位置する、四方を山に囲まれた人口約1,000人、高齢化率45%を超える村。和歌山県北山村や三重県熊野市に隣接している。

資料提供：奈良県社会福祉協議会

【取組】 傾聴ボランティア活動

【実施主体】 健やか交流塾

◆活動の概要

- ・話し相手がなく、社会参加も出来ない孤立しがちな人が増えているなか、こうした人の話をじっくり聴く事で、相手の心を癒し、孤立や不安を軽減させたいという思いから、傾聴ボランティアを養成し、傾聴活動を続けています。
- ・県内各地からボランティア希望者を募集し、相手の話す事を聴く力、コミュニケーション力等を向上させるための「傾聴ボランティア養成講座」を開催し、ボランティアを養成します。
- ・受講生は、講座修了後、地元市町村の傾聴ボランティア団体に加入して活動されています。地域に傾聴ボランティアの組織がない場合は、新たな組織づくりや活動ができるよう地域の社会福祉協議会と連携を行っています。
- ・市町村の傾聴ボランティア団体では、地域の福祉施設協議会と協働して、地域の高齢者施設や個人宅などで傾聴ボランティアの活動を行っています。



[養成人数]

H26年度 30名 H27年度 38名

[傾聴ボランティア団体のある市町村] (H27年12月現在)

奈良市、大和郡山市、橿原市、桜井市、生駒市、香芝市、三郷町、吉野町

資料提供：奈良県社会福祉協議会